

インフルエンザの サーベイランスが 変わります！

2011年9月5日から

インフルエンザ入院サーベイランスがスタート

2009年の新型インフルエンザ(A/H1N1)発生以来、厚生労働省はインフルエンザによる重症者の動向を把握するために「重症サーベイランス」を実施し、インフルエンザ患者の急性脳症の発症、人工呼吸器や集中治療室(ICU)の利用等について、医療機関から保健所へご報告をいただけてきました。

そして、2011年9月5日からは、重症サーベイランスに代わり「入院サーベイランス」を実施いたします。

入院サーベイランスでは、「基幹定点」医療機関よりインフルエンザによる入院患者の発生状況や重症化の傾向をご報告いただき、国が集計した情報を医療機関へフィードバックし、インフルエンザの診療にお役立ていただきます。

入院サーベイランスのスタートに伴い、医療機関からご報告をいただく内容や方法がこれまでと変わってまいります。

みなさまにおかれましては、入院サーベイランスの趣旨をご理解いただき、あらためてご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基幹定点医療機関から 入院時の患者に対する医療対応を 1週間ごとに報告いただきます

入院サーベイランスの概要

実施期間	通年での実施をお願いいたします。
届出医療機関	基幹定点医療機関のみを対象とします。
対象となる患者	インフルエンザによる入院患者
届出方法	<ul style="list-style-type: none"> ○調査時期：1患者あたり入院時に1回のみ ○調査内容：重症の指標となる入院時の医療対応（※） ○届出間隔：1週間（月～日）ごとに保健所へ報告

※入院時の医療対応のうち、「人工呼吸器利用の有無」は肺炎の傾向を把握するために、「頭部CTの有無」等は急性脳症の傾向を把握するため等に報告いただきます。

入院サーベイランスの調査項目(従来の重症サーベイランスとの比較)

従来の重症サーベイランス	入院サーベイランス
性別、年齢	性別、年齢
基礎疾患等	—
ワクチン接種の有無	—
治療方法	—
入院日	—
入院理由	—
急性肺炎の有無	—
急性脳症の有無	頭部CT、脳波、MRI検査の有無 (予定も含む)
人工呼吸器利用の有無	人工呼吸器利用の有無
ICU入室の有無	ICU入室の有無
酸素使用の有無	—
PCR検査結果	—
患者状態(退院、転院etc)	—
退院日	—

【報告票のイメージ】
インフルエンザによる入院患者について、1週間(月～日)ごとに保健所へ報告いただきます。
※ 報告週において入院患者がいなかった場合も0(ゼロ)報告をお願いします。
※ 入院時の患者対応については、各入院患者ごとに調査票の該当項目に○を付けていただきます。

感染症発生動向調査(基幹定点)
(インフルエンザによる入院患者の報告)

氏名
〒 年 月 日 年 月 日

ID番号	性別	年齢 (0歳は月齢)	ICU入室	人工呼吸器 の利用	入院時の対応		いずれにも 該当せず
					頭部CT検査 (予定含む)	脳波検査 (予定含む)	
1	男・女						
2	男・女						
3	男・女						
4	男・女						
5	男・女						
6	男・女						
7	男・女						
8	男・女						
9	男・女						
10	男・女						
11	男・女						
12	男・女						
13	男・女						
14	男・女						

※検査を含む)を報告していただき
を記入してください

「入院」という客観的指標で 重症化リスクの程度を把握、 医療機関へフィードバックします

なぜ入院サーベイランスを行うのか

これまで実施してきた重症サーベイランスでは、ご報告をいただく医療機関のみならず、情報を収集する自治体のご協力により
○インフルエンザが健康に与える影響度を、「重症化」を示す複数の指標で把握し、より具体的な情報をフィードバックする
○行政判断に必要なデータを取得し、より効果的な対策に反映するという成果を上げることができました。
半面、医療機関や自治体に大きな負担をおかけしたことが課題として挙げられました。

2011年9月5日から実施する入院サーベイランスは、重症サーベイランスの成果と課題をふまえて

- 「入院」という客観的指標で、インフルエンザによる重症化リスクの程度を把握する
- 報告対象の明確化・報告内容の簡素化を図り、医療機関と自治体の負担を軽減することをめざします。

ご報告いただくデータはインフルエンザの流行期に毎週公表し、医療機関のみならず自治体へフィードバックし、日々のインフルエンザ診療にご活用いただけるものとします。

従来の重症サーベイランスからの変更点

従来の重症サーベイランス	変更点	入院サーベイランス
全医療機関から報告	医療機関、自治体の負担軽減	基幹定点医療機関から報告
入院中の複数回報告		入院時のみの1回報告
重症者・死亡者を報告	報告対象の明確化	入院患者を報告
臨床（カルテ）情報も報告	報告内容の簡素化	医療対応のみの報告
通年、毎週公表		流行期に、毎週公表

インフルエンザによる入院患者の概況

平成23年9月16日時点

(1)入院患者の届出数

期間	9月1日 ～9月11日	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院患者数	0人	0人							0人
1歳未満	0人	0人							0人
1～4歳	0人	0人							0人
5～9歳	0人	0人							0人
10～14歳	0人	0人							0人
15～19歳	0人	0人							0人
20～29歳	0人	0人							0人
30～39歳	0人	0人							0人
40～49歳	0人	0人							0人
50～59歳	0人	0人							0人
60～69歳	0人	0人							0人
70～79歳	0人	0人							0人
80歳以上	0人	0人							0人

(2)入院時の対応状況

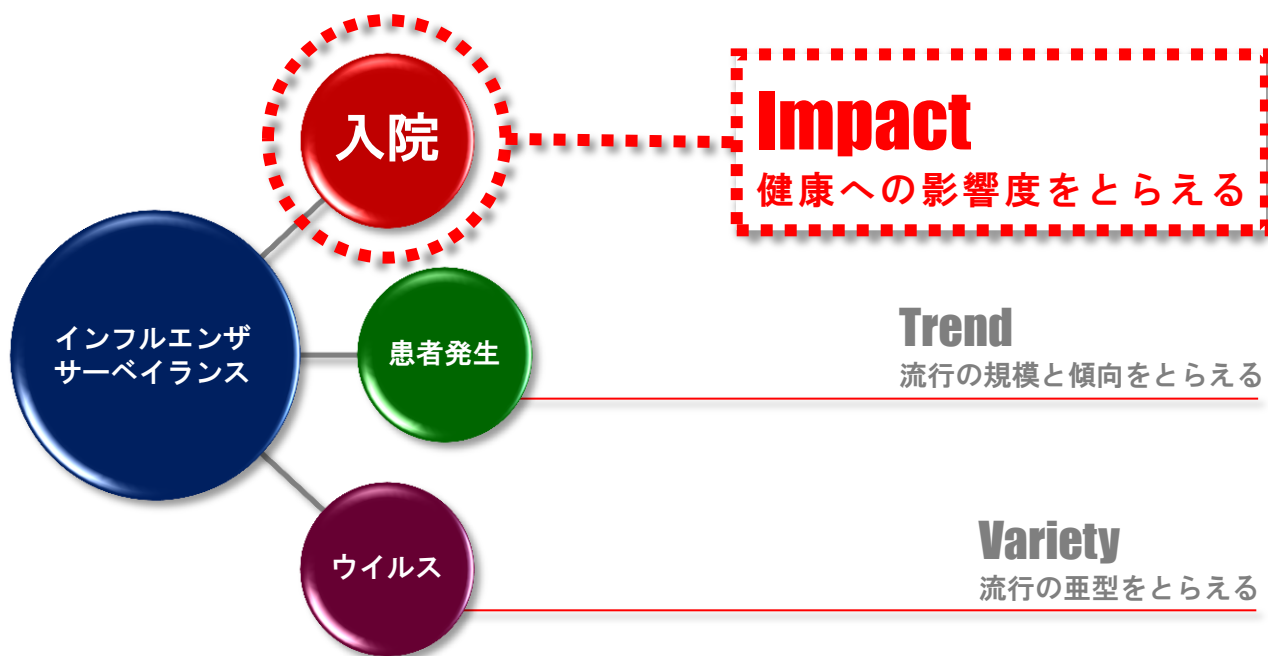
期間	9月1日 ～9月11日	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ICU入室	0人	0人							0人
人工呼吸器の利用	0人	0人							0人

【情報のフィードバック】
ご報告いただいたデータを
毎週金曜日に公表予定。

入院サーベイランスは インフルエンザが健康に与える インパクトをとらえます

インフルエンザの本質を知る入院サーベイランス

「入院」という客観的指標で、インフルエンザによる重症化リスクの程度を把握する入院サーベイランスは、インフルエンザが健康に与えるインパクト（影響度）をとらえ、その本質（怖さ）を数値化するサーベイランスといえます。入院サーベイランスをはじめ、すでに行っている患者発生サーベイランス、ウイルスサーベイランスのデータの蓄積と組み合わせによって、将来的にはインフルエンザに対する評価の3D化（多面的評価）が期待できます。



感染症情報を医療者へダイレクトにお届けする、厚生労働省のメールマガジン

感 染 症 エ ク ス プ レ ス @ 厚 労 省

厚生労働省では、2011年6月から『感染症エクスプレス@厚労省』を配信中です。ぜひ日常の感染症診療にお役立てください。

<http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/>